

見守り続けてくれた学校の木々と、命のバトン

せ 生氣あふれる元気な子

朝夕の風に秋の深まりを感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今月の朝タイムでは、子どもたちに「学校に立つ木々」について話をする予定です。

本校の敷地内には、たくさんの木々が根を張り、子どもたちの成長を長年見守ってくれています。正門前の二宮金次郎像の所に立つ桜の木は、秋の訪れとともに葉を落とし始め、季節の移り変わりを静かに教えてくれています。(落ち葉を掃いて玄関周りをきれいにしている高学年を中心とした朝のボランティア活動も本校のすばらしい伝統になっています。)また、道路に面したフェンス沿いには、校舎の高さを超える見事な松の木をはじめ、運動場には新緑や紅葉で目を楽しませてくれる桜やイチョウが並んでいます。どの木も、これまで多くの子どもたちの歓声を聞き、登下校を見守ってきた、学校の歴史そのものです。保護者のみなさまや地域の方々にも長年にわたる「松の木募金」のご協力や手入れを通して、大切にさせていただきました。

生き物である木々も、人間と同じように歳を重ね、時には病気に罹ることがあります。現在、校舎を超える大きな松の1本や、西門そばの松2本、そして運動場の桜やイチョウの数本が、少しずつ枯れ始めています。枯れかけた木につきましては、児童の安全確保を最優先とし、専門業者による点検を受けながら、必要に応じて伐採や剪定(せんてい)・葉の散布などの処置を順次進めております。長年親しまれてきた景観が変わることは寂しくもありますが、子どもたちの安全な学校生活を守るための判断となりますこと、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

朝タイムでは、子どもたちへ次のような話をしようと考えています。

「毎日みんなが元気に登校する姿を、ずっと見守ってくれた木々があります。生きているものは、どれほど大切にしているか、いつか形を変えたり命を終えたりする時が来ます。でも、その木々が私たちにくれた木陰や思い出、感謝の気持ちは消えることはありません。新しく芽吹く命があれば、役目を終えていく命もあります。身近な木々の姿を通して、命の温かさや巡りについて考えてみましょう。」

今回の木々の変化や処置を通し、子どもたちが「命の大切さ」や「身近なもの・歴史への感謝」を実感し、心豊かに成長できるよう、日々の指導や声かけにつなげてまいります。地域・保護者の皆様も、学校にお立ち寄りの際は、ぜひ子どもたちと一緒に、長年学校を守ってくれた木々の姿に目を向けてみてください。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

★ 帰宅時刻について ★

10月から帰宅時刻が変わり、17時となります。17時には家に着いているようにします。ご家庭でも声かけをお願いします。

★ P T A奉仕作業について ★

10月23日(金) 14:25～15:05にP T A奉仕作業を行います。一年に一度の取組となりますので、ぜひ参加していただき、子どもたちと一緒に環境整備にご協力をくださればと思います。日ごろの掃除ではできない窓ふきや草抜きを中心に計画しています。よろしくお願いいたします。

★ 陸上運動記録会について ★

6年生の陸上記録会を、令和8年11月4日(水) 14:05～15:00 (雨天時11月13日(金)までに)に本校運動場で行う予定です。体育科の授業の一環として5・6年合同で実施します。